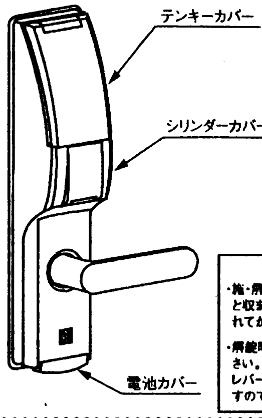
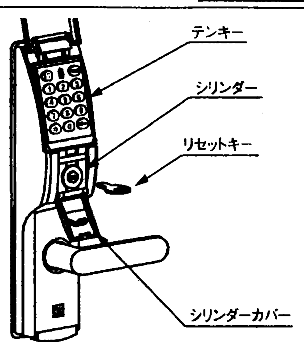
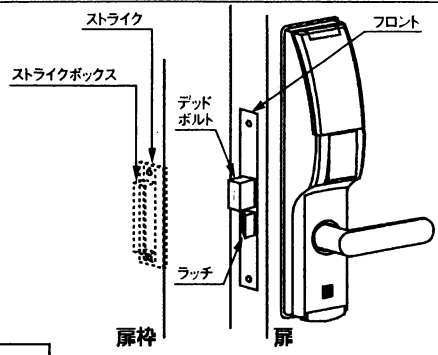
ALPHA ed LOCK 取扱説明書 管理者様用 施主様用

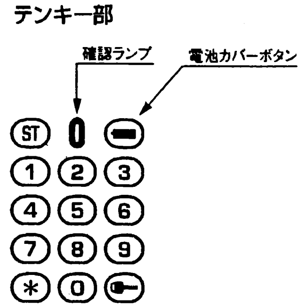
株式会社アルファ　AL05K19
■取り扱い問い合わせの連絡先　〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦1-6-8　サービス窓口　TEL.045-787-7422

部品名称









注意事項

- 施・解錠時、デッドボルト(かんぬき)が作動しない場合は、ラッチがストライクにきちんと収まっていない可能性がありますので、ドアを押してラッチを確実にストライクに入れてから改めて施・解錠操作を行ってください
- 解錠時、テンキー操作をしてデッドボルトが確実に引っ込んでからレバーを下げてください。デッドボルトが確実に引っ込むと「ピピ」という音がします。それを確認してからレバーを下げて下さい。レバーを先に下げるとデッドボルトが作動しない場合がありますので注意してください。

暗証番号の登録方法　リセットキーを90度回した状態で登録してください。

登録内容	桁数	登録方法	操作方法
第一暗証番号	4~8	(*)(1)(ST)○○○○○(ST)（4桁の時）	(*)○○○○(*)（4桁の時）
第二暗証番号	4~8	(*)(2)(ST)○○○○○(ST)（4桁の時）	(*)○○○○(*)（4桁の時）
ロックアウトコード	7~8	(*)(8)(ST)○○○○○○○○(ST)○○○○○○○○(ST)	(*)○○○○○○○○(*)

1 暗証番号の登録

(4桁から8桁までの暗証番号を登録できます。)

※暗証番号の登録は、必ずドアを開けた状態で行ってください。

※暗証番号の登録は、リセットキー操作後30秒以内に行ってください。
30秒以内に操作しませんと正しく登録できません。下記の登録方法を読んで登録する暗証番号を決めてから登録作業を行ってください。

※工場出荷時は、第一暗証番号のみで暗証番号は0000になっています。

[登録方法]

リセットキーがある場合

1)テンキーカバーをあげ、シリンダーカバーを手前に引いて開けます。

2)シリンダーにリセットキーを差し込んで、右又は左に90度回したままにしてください。
(受信音を確認してください。受信音は「ピロ」です。)

※暗証番号登録が終わるまで、リセットキーを戻さないでください。

3)テンキーの数字を押し、暗証番号を登録してください。暗証番号は5桁以上をお薦めします。
第1暗証番号の登録の場合は下記の通りです。

暗証番号(4桁~8桁)

(*)(1)(ST)○○○○○○○○(ST)
ピロピピ…………………………ピロピー
↑ランプ点灯　　　↑ランプ消灯

(例)暗証番号に1.2.3.4.を登録する場合。
(*)(1)(ST)(1)(2)(3)(4)(ST)

4)正しく登録ができると確認ランプが点灯し、ピー音が鳴ります。

5)リセットキーを90度戻して抜いてから、シリンダーカバーを閉じてください。

6)暗証番号登録後、下記 2 の手順で暗証番号を確認してください。

7)第2暗証番号の登録
第1暗証番号と同じですが、2番目と暗証番号の所だけ押す数字が変わります。

暗証番号(4桁~8桁)

(*)(2)(ST)○○○○○○○○(ST)(第2暗証番号)

1つの暗証番号を登録するごとに、リセットキーを左へ90度回して戻してください。
(1回のリセットキー操作では連続して登録できません)

※登録を間違えた場合は、リセットキーを戻し、最初からやり直してください。

リセットキーがない場合

第1暗証番号のみ登録可能です。　第2暗証番号はリセットキーがないと登録できません。

暗証番号の変更方法(暗証番号は5桁以上をお勧めします。)

必ず扉を開けた状態で変更を行い、変更O.K.を確認してからドアを閉めてください。

1)今お使いの暗証番号を入力。
(*)□□□□□□(*)　(工場出荷時は(*)(0)(0)(0)(0)(*))

2)入力後2秒以内に(ST)ボタンを押し続けると「ピロ」という音がしますのでその音がしたら指を離して下さい。

3)その後に下記の通りに新しい暗証番号を入力してください。
(*)(1)(ST)□□□□□□(ST)
暗証番号は4桁~8桁を設定してください。

4)ピー音とともにテンキー上部の赤ランプが点灯すれば、暗証番号は変更完了です。

5)変更完了後、必ず扉を開けた状態で作動確認(新暗証番号の作動と旧暗証番号が使えないか)を行ってください。

操作が間違っていたりすると、ピー音が鳴らず赤ランプが点灯しません。
その場合には、もう一度上記1)の手順からやり直してください。

2 暗証番号の作動確認

暗証番号を登録(変更)したら、必ずドアを開けた状態で作動確認をしてください。

[確認方法]

暗証番号………… 3 の外側からの操作方法(解錠操作)と同じですので参照してください。

3 外側からの操作方法

[解錠操作]

1)テンキーカバーをあげて、暗証番号を下記の手順で押してください。

暗証番号(4桁~8桁)
(*)○○○○(*)
ピロピ…………ピロピー
↑ランプ点灯　↑ランプ消灯

2)デッドボルトが引き込み、ピピ音が鳴ります。操作終了後、テンキーカバーをおろしてください。

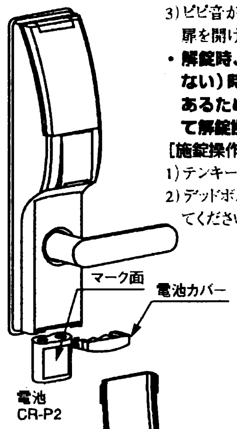
3)ピピ音が鳴りデッドボルトが引き込むのを確認してからレバーハンドルを下げ扉を開けてください。

- **解錠時、暗証番号を正しく入力しデッドボルトが戻らない(扉が開かない)時は、ラッチがストライクにきちんと収まっていない可能性があるため、ドアを押してラッチを確実にストライクに入れてから改めて解錠操作をしてください。**

[施錠操作]

1)テンキーカバーをあげて、施錠ボタンを押してください。

2)デッドボルトが出、ピー音が鳴ります。操作終了後、テンキーカバーをおろしてください。



- **施錠時、施錠ボタンを押してもデッドボルトが出てこない(扉が閉まらない)時は、ラッチがストライクにきちんと収まっていない可能性があるため、ドアを押してラッチを確実にストライクに入れてから改めて施錠操作をしてください。**

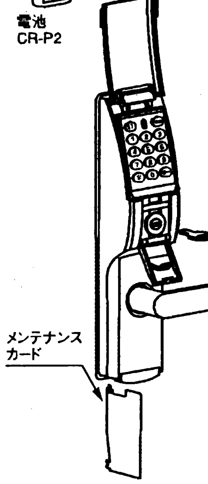
4 内側からの操作方法

内側のサムターンを回すことにより、いつでも施・解錠できます。

5 電池の交換

※使用頻度が少なく、電池の消耗がない場合でも、電池の端子のサビなどで作動しなくなることがありますので2年で電池交換をしてください。

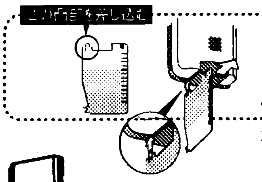
1)電池が消耗してくると最初の*を押したときのブザー音が変わります。(ピロ⇒ピロピーピー)又、テンキーが点滅しますので、電池を速やかに交換してください。



[電池交換]

電池交換には、現在使用されている暗証番号の入力が必要です。通常の暗証番号を解錠と同じ方法で入力後、約2秒以内に電池カバーボタンを押し続けながら、電池カバーを1度奥へ押し込んだのち、手前に引き出してください。電池の下部を手前にずらすと電池が外れます。電池がはずれたら、新しい電池(CR-P2)と交換します。このとき電池の電極が上に向くように組み込んでください。電池を押し込みながら、電池カバーを元に戻すと、電池カバーはロックされます。電池は必ずリチウムパック電池CR-P2を使用してください。

2)完全に電池が放電してしまったり、電気系統にトラブルが発生した場合、付属のメンテナンスカードを使って電池カバーを取り外すことができます。

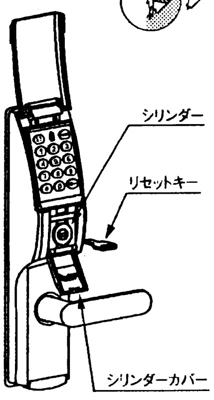


1.メンテナンスカードを差し込む
左図のように本体下部の電池カバーと本体の隙間にメンテナンスカードの凸部を差し込みながら電池カバーを手前へ引き出して取り外す。

2.上記手順の順番で電池を交換する

3)メンテナンスカードを使用して、電池を交換した場合、
(*)○○○○(*)
暗証番号を入力した後、(−)電池カバーボタンを1回押してください。こうしないと、電池消耗警告音が消えません。

6 非常時のキーでの解錠



万一の場合、リセットキーにより外側から解錠ができます。電池切れや、暗証番号を忘れたときにご使用ください。

1)テンキーカバーをあげ、シリンダーカバーを手前に引いて開けます。シリンダーにリセットキーを差し込み、右又は左に90度回すと解錠します。
(この際、ピロピロの受信音も鳴ります)

2)リセットキーは、暗証番号登録用のリセットキーを兼ねていますので、お客様の厳重な管理をお願いします。

※万一、リセットキーを紛失された場合、大変危険ですのでシリンダーの交換をお薦めします。交換をご希望の方は、お買い上げ販売店又は、当社へご相談ください。
(但し有料になります)

7 ロックアウトコードについて

ロックアウトコードを使用することによって、長期不在時の安全確保及び、暗証番号操作を不能にすることができます。

1)ロックアウトコードの登録方法

ロックアウトコードは7桁または8桁の番号とします。

①テンキーカバーをあげ、シリンダーカバーを手前に引いて開けます。シリンダーにリセットキーを差し込んで、右又は左に90度回してください。

(受信音を確認してください。受信音は「ピロ」です。)

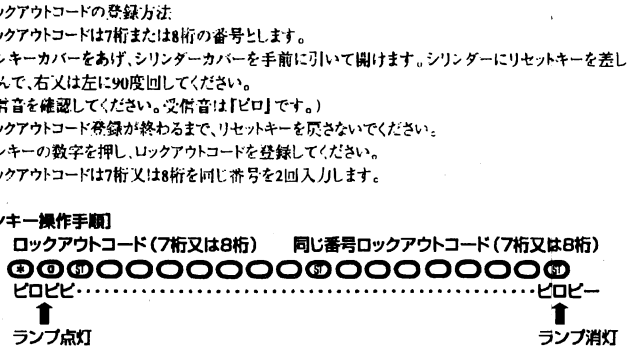
※ロックアウトコード登録が終わるまで、リセットキーを戻さないでください。

②テンキーの数字を押し、ロックアウトコードを登録してください。

ロックアウトコードは7桁又は8桁を同じ番号を2回入力します。

[テンキー操作手順]

ロックアウトコード(7桁又は8桁)　　同じ番号ロックアウトコード(7桁又は8桁)



(例)ロックアウトコードに4.3.7.2.7.4.3を登録する場合

③正しく登録できると確認ランプが点灯し、ピー音が鳴ります。

④リセットキーを90度回して抜いてから、シリンダーカバーを閉じてください。

※これだけではロックアウトは作動しません。次の作動及び解除方法を参照してください。

2)ロックアウトコードの作動及び解除方法

[作動方法]

ロックアウト状態にするには、登録されているロックアウトコードを 1 -1)解錠操作と同じ要領で入力してください。

ロックアウトコード4.3.7.2.7.4.3の場合

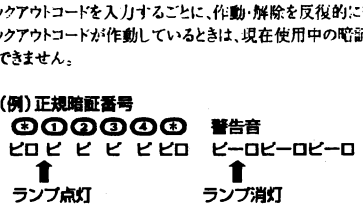
[解除方法]

ロックアウト状態を解除するには、もう1度ロックアウトコードを入力してください。

※ロックアウトコードを入力するごとに、作動・解除を反復的に繰り返します。

※ロックアウトコードが作動しているときは、現在使用中の暗証番号を入力しても警告音を発生して解錠できません。

(例)正規暗証番号



8 暗証番号及びロックアウトコードの作動確認

暗証番号、ロックアウトコードを登録(変更)したら、必ず作動確認をしてください。

[確認方法]

暗証番号……1 の外側からの操作方法(解錠操作)を参照してください。

ロックアウトコード……7 のロックアウトコードについて(作動方法)を参照してください。

9 暗証番号の変更について

[変更方法]

第1暗証番号～第2暗証番号、ロックアウトコード共に登録方法と同じ操作手順で、新しい番号を入力することにより変更できます。(新しい暗証番号が古い暗証番号に上書きされます)

10 暗証番号の消去について

第2暗証番号及びロックアウトコードを消去することができます。

※第1暗証番号は消去できません。(但し、別の暗証番号を再登録すれば前の暗証番号は消去されます)

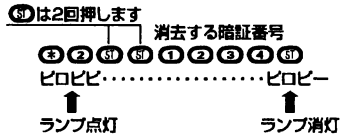
[消去方法]

①テンキーカバーをあげ、シリンダーカバーを手前に引いて開けます。シリンダーにリセットキーを差し込んで、右又は左に90度回してください。(受信音ピロ)

※暗証番号消去が終わるまで、リセットキーを戻さないでください。

②テンキーにて消去する暗証番号を入力して消去します。

(例1)第2暗証番号に1.2.3.4が入っている場合。



(例2)ロックアウトコードに1.2.3.4.5.6.7が入っている場合。

③リセットキーを戻して抜いてから、シリンダーカバーを閉じてください。操作終了後、テンキーカバーを降ろして下さい。

暗証番号を消去する場合、何番目の暗証番号にどういう番号が入っているかをあらかじめ確認して下さい。

何が入っているか分からなくなった時は、1度新しい暗証番号を登録してから、消去するようにして下さい。

11 作動しない時

1)下記のことをもう一度お確かめ下さい。

・施・解錠時、デッドボルト(かんぬき)が作動しない場合は、ラッチがストライクにきちんと収まっていない可能性がありますので、ドアを押してラッチを確実にストライクに入れてから改めて施・解錠を行って下さい。

・扉が閉まるとき、ラッチが引っかかって閉まりきらない状態ではないですか?

・サムターンを回すとき、かたくないですか?

※問題がある場合には扉の調整・修理を依頼してください。

・電池は指示通りに正しく入れてありますか。

・暗証番号を登録するごとに、リセットキー操作を行いましたか。

・暗証番号を間違えた場合、✱から押し直しましたか。

・暗証番号は、正しいですか。(新しい暗証番号を登録しますと前の番号は消えてしまいます)

・入力ミスをして、30秒間の操作不能状態になっていませんか。

2)テンキー操作は正しく行ってください。

①暗証番号を間違えたときは✱を押して、最初から押し直してください。(再度✱よりスタート)

②暗証番号を4回連続して間違えたとき(それぞれの暗証番号入力間隔が10秒以上の時)、又✱を押してから数字を15桁以上押したとき、数字を押さないで✱を20回以上連続して押した場合には、約30秒間操作不能となります。

12 ご使用上の注意

1.機器の汚れは、乾拭き程度でふき取るようにして下さい。

2.ベンジン、シンナー等は使用しないで下さい。

3.マイコン等の電子部品を使用していますので、強い衝撃を与えたり、散水による水洗いなどはお避け下さい。

4.電子基盤等精密部品が多いので絶対に分解しないで下さい。

5.ご使用前に電池を入れて暗証番号を設定して下さい。

6.非常の時は、鍵で解錠して下さい。

7.テンキー操作

⚠注意　①テンキーは必ず指の腹で押して下さい。爪の先、とがった物では押さないで下さい。爪の先で押した場合、**テンキーのすき間に挟む可能性があります**。又、とがった物で押した場合、正常に機能しない場合があります。

⚠警告　②テンキー操作はテンキーカバーを完全に上に上げた状態で行って下さい。完全に上がりきっていない状態でテンキーを押すとテンキーとテンキーカバーとの間で**指をはさむ可能性があります。**

8.レバー操作

⚠注意　レバー操作は何も持たない手で行って下さい。荷物等を持ったまま行うと操作が不安定となり手をはさむ原因となります。

9.リセットキーの操作

⚠警告　①シリンダーカバーはリセットキーでの操作時以外は開けないで下さい。開けたままの状態で放置すると人にぶつかる(特に、扉の外に人がいて、内から開けたとき)可能性があります。

⚠注意　②リセットキー操作は荷物等を持ったままの手で行わないで下さい。シリンダーカバーの裏面で手をはさむ可能性があります。

10.電池交換

⚠注意　電池交換時、電池カバーを取り外すとバッテリーが落下する可能性がありますので、手で受けながら電池カバーを外して下さい。

電池消耗警告音が鳴らなくても2年毎に電池交換をして下さい。交換しないでお使い続けますと電池の液漏れ、腐食等により、作動不具合の恐れがあります。

11.その他

⚠注意　テンキー操作時以外はテンキーカバーは下げた状態にしておいて下さい。テンキーカバーを上げた状態でカバーに物を引っかけたり、扉を保持しないで下さい。正常に機能しなくなる場合があります。

お引き渡し時と入居者の退去時は、第2暗証番号以降の変更もお願いします。変更しないと前入居者、または第2暗証番号を知っている人に悪用される危険性がありますのでご注意願います。変更方法は取扱説明書の内容を参照して下さい。

13 主な仕様

暗証番号		4桁～8桁の数字　2種類まで登録可能
機能		電池消耗警告機能 いたずら防止機能 オートパワーオフ機能(節電機能) ロックアウト機能 暗証番号複数設定機能 ワンタッチ施錠ボタン機能 暗証番号式電池交換機能 テンキー内部照明機能
入力方法		シリコンゴム式テンキー
暗証認識		LSIメモリー
電源		DC6V(リチウムパック電池CR-P2)
電池寿命		約2年(1日10回操作した場合、当社規定による)
使用条件	温度	-15℃～+60℃
	湿度	90%RH以下
シリンダー		ディンプルタイプピンシリンダー

注)温泉地等の特殊ガス発生地域での使用、又は浴室等の多湿での使用は避けてください。

直接雨にかかりにくい、軒がある場所でご使用ください。

使用頻度が少なく、電池の消耗がない場合でも、電池の端子のサビなどで作動しなくなることがありますので2年で電池交換をして下さい。

株式会社アルファ

■取り扱い問い合わせの連絡先

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦1-6-8　サービス窓口　TEL.045-787-7422